

みやぎの地域共生社会の実現を目指して

令和7年度 第1回 宮城県地域共生社会推進会議を開催しました



令和7年8月26日に開催した宮城県地域共生社会推進会議は、令和4年2月に宮城県と本会が共同で立ち上げたプラットフォームで、7回目の開催となりました。

今回は、県内の取組事例の紹介を通じて、地域共生社会の実現に向けて理解を深めることを目的にオンラインにより開催しました。

基調講演 地域共生社会の実現に向けた 様々な主体との連携 ～居場所づくりの実践から～

● 宮城県児童館・放課後児童クラブ連絡協議会 副会長 荒木 裕美 氏



自身の経験から、子育ては家庭や当事者同士の支援合いで限界があり、NPO法人を立ち上げました。見つけてもらえるのを待つのではなく、自ら手を挙げて動く必要があると思いました。

地域とつながることの大切さを感じました。見つけてもらうのを待つのではなく、自ら手を挙げて動く必要があると思いました。見つけてもらうのを待つのではなく、自ら手を挙げて動く必要があると思いました。見つけてもらうのを待つのではなく、自ら手を挙げて動く必要があると思いました。見つけてもらうのを待つのではなく、自ら手を挙げて動く必要があると思いました。



した。活動を続ける中で、こうした若者を支援する団体がないことや、生まれ

林高等学校吹奏楽部による演奏、キッズ向けハロウィンウォークラリーなどを行っています。この取組は、4年前に美里町に移住してきた2人の女性が「美里町の人はなぜこんなに自分の町に自信がないんだろう」と思ったことがきっかけで始まり、美里町の魅力をたくさん知ることができる「美里町のテーマパーク」にすることをコンセプトに毎年開催しています。

地域に埋もれている人材を発掘、紹介できる場であり、参加者や出店者同士の出会いの場となることで、新たな挑戦につながっています。小学生から高校生までのボランティアが企画から関わることで、社会体験の場にもなっています。

今後もこの取組を通じて、美里町の子どもも大人も地域を知り、地元に誇りを持てるような取組を目指していくたいと考えています。

一般社団法人フリースペースつなぎ 代表理事 中村 みちよ 氏

【主な発表内容】

気仙沼市で学校に行けなくなつた子どもやひきこもりがちな若者たちの居場所づくりをしたいと思い、平成25年に「フリースペースつなぎ」を始めま



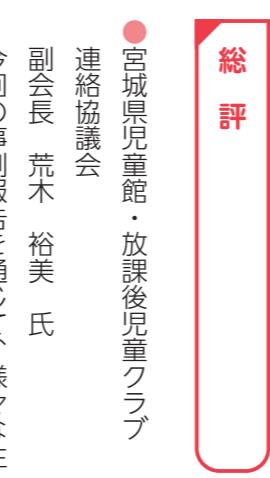
(以下「協議会」という)は、高齢者等の消費者被害の未然防止等、消費者の

育った気仙沼市で将来働く場所がないこと、イラスト作成などのスキルがあつても生かす場所がないなどの課題を感じ、令和7年3月に「つなぎ工房」をオープンしました。

「つなぎ工房」では、地域住民が買い物に不便を感じているとのニーズがあり、日用品や食料品の販売を行っています。この取組を始めたことで地域住民との交流が増え、高齢者から「手が届かない窓の掃除をしてほしい」などとの要望が寄せられるようになりました。

今後は生きづらさを感じている若者に対する地元企業や地域住民の理解を進めるため、若者の力を地域に展開しながら、住民と一緒に地域づくりを行っていきたいと考えています。

今後もこの取組を通じて、美里町の子どもも大人も地域を知り、地元に誇りを持てるような取組を目指していくたいと考えています。



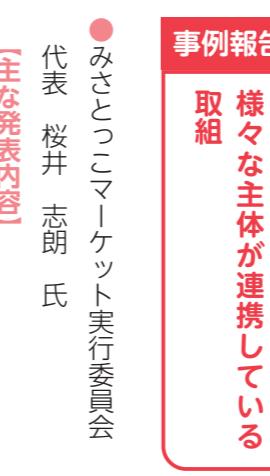
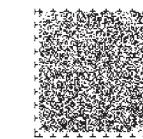
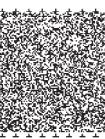
（以下「協議会」という）は、高齢者等の消費者被害の未然防止等、消費者の

安全の確保を目的に、平成30年4月に設置されました。協議会の構成員は、福祉関係団体や大崎市、郵便局、新聞販売店などであり、年1回程度会議を開催し、情報交換・意見交換を行っています。

協議会の設置により、民間団体を含めた構成員間で個人情報の共有が可能となり、これまで埋もれがちだった気になる人に関する情報についても、消費者生活センターに情報が寄せられるようになつたことで、消費者被害の早期発見が可能になりました。

消費者被害の未然防止や早期発見に向けた取組は、地域での見守りが重要です。消費者被害にかかわらず気にならざるを得ないといふべきですが、若い世代にも地域の見守りをもつと広めていきたいと考えています。今後も市民が、安心して生活できる地域を目指してまいります。

今後も、本会では地域共生社会の実現に向けた取組を共有し、取組の活性化に努めます。令和7年12月22日には東北学院大学土壠キャンパスで今年度2回目の会議を開催予定です。詳細はホームページをご覧ください。



● みさとっこマーケット実行委員会 代表 桜井 志朗 氏

令和4年から美里町で誰もが主役になるイベントの「みさとっこマーケット」を行っており、町内の店舗を中心としたブースの出店や宮城県小牛田農

地域共生社会を進めていくにあたり、子ども自身も社会に参加する主体であります。「町を良くしたい」という思いを持っています。今後はこれまでの制度などでつながれていなかつたものをまぜこぜにし、子どもをつくり、そのような場所を活用して機運の醸成につなげていきたいと考えています。



● みさとっこマーケット実行委員会 代表 桜井 志朗 氏

令和4年から美里町で誰もが主役になるイベントの「みさとっこマーケット」を行っており、町内の店舗を中心としたブースの出店や宮城県小牛田農